

スプライトの観測

#内海麻衣[1]

[1] 千葉県立東葛飾高等学校

1 スプライトの2点同時観測

愛知県立一宮高等学校とのスプライト2点同時観測に成功し、カラム型スプライトの発光地点について、地図上の場所と高度を計算して求めた。

	千葉県松戸市からの方位角	発光地点までの距離	発光高度
カラム a	148.3 °	170km	60km
カラム b	147.6 °	155km	65km
カラム c	143.6 °	192km	64km
カラム d	143.0 °	194km	65km
カラム e	142.1 °	168km	63km

2 スプライトの眼視観測

本校の地学部員 4名が、スプライトの眼視観測にこれまで成功した。そして、色がオレンジ (車道のナトリウム灯と同じような色)、瞬間的な発光、輝きは一様ではないという証言を得た。

3 スプライトとエルプス

エルプスとスプライトが同時に映った現象を2回撮影した。

4 スプライト現象のまとめ

私たちの多くの観測例から、日本海側にはカラム型スプライトが、太平洋側にはキャロット型スプライトが多いことがわかった。

そして、自らの観測結果などを用いたスプライト関連の分類図を作成した。



写真 : スプライトとエルプス